

第13回医療安全管理業務監査報告書

福井大学医学部附属病院医療安全管理業務監査委員会規程に基づき、監査を実施しましたので、以下のとおり報告します。

監査方法

福井大学医学部附属病院の医療安全管理業務について、医療安全管理責任者及び医療安全業務従事者等から、説明聴取及び資料閲覧により報告を求め、監査を実施しました。

日時：令和5年11月8日（水） 14：30～16：00

場所：福井大学医学部附属病院 B棟2階医療環境センター会議室

委員長：谷内江 昭宏 金沢大学附属病院 医療安全管理部長

委員：安川 繁博 福井県医師会副会長

委員：草桶 秀夫 前福井工業環境情報学部 教授

委員：吉川 奈奈 杉原・きっかわ法律事務所 弁護士

監査項目

- 1) 医療画像・病理検査報告書の確認について
- 2) 医療安全体制について
- 3) 2022年度インシデント統計（過去3年の統計含む）について
- 4) 転倒・転落に関する統計、ならびに対処状況について

監査結果

- 1) 医療画像・病理検査報告書の確認について
 - ① 画像診断・病理診断報告書確認対策チーム要項が令和5年3月23日に制定され、報告書確認管理者を置くなど、画像検査並びに病理検査の適正な管理及び効率的な運用について、適切に取り組まれていることを確認しました。
 - ② 画像診断・病理診断報告書確認対策チームは、カンファレンスを定期開催し、実施状況の把握及び評価について、適切に行っていることを確認しました。
 - ③ 報告書確認管理者は、画像診断報告書並びに病理診断報告書の確認漏れによる診断または治療開始の遅延を防止するための業務について、適切に行っていることを確認しました。
 - ④ 病理部による未参照リストの再通知を行う運用を開始するなど、病理診断報告書の確認漏れ防止対策が適切に取り組まれていることを確認しました。
 - ⑤ 画像診断レポートの重要所見の定義を明文化するなど、画像診断報告書の確認漏れ防止対策が適切に取り組まれていることを確認しました。

2) 医療安全体制について

福井大学医学部附属病院における医療安全管理体制及び安全管理の取り組みが適切であることを確認しました。

3) 2022 年度インシデント統計（過去 3 年の統計含む）について

- ① オカレンス報告については、年度別報告件数の推移、報告書表題別の推移及び職種別割合の推移などの統計により、状況の把握や要因分析が適切に行われていることを確認しました。
- ② インシデント事例（発生）については、インシデント事例件数の推移、影響レベル別推移、事項・影響レベル別件数及び当事者職種別推移などの統計により、状況の把握や要因分析が適切に行われていることを確認しました。
- ③ 患者誤認報告については、事項別件数の推移、事例別割合の推移、報告者別件数の推移などの統計により、状況の把握や要因分析が適切に行われていることを確認しました。

4) 転倒・転落に関する統計、ならびに対応状況について

- ① 転倒転落については、報告件数の推移、影響レベル別件数の推移、影響度の推移、区分別の割合、入院患者の転倒率の推移などの統計により、発生状況の把握が適切に行われていることを確認しました。
- ② 転倒転落に関する対応状況としては、転倒・転落防止対策ワーキンググループを令和 4 年 9 月 20 日に設置し、医師、看護師・理学療法士・作業療法士・薬剤師・栄養士などの多職種によるチームを結成するなど、院内の予防対策が適切に行われていることを確認しました。
- ③ 医療安全管理部の取り組みとして、転倒予防啓発動画の配信、「転びやすさ自己チェック表」の作成、患者向け啓蒙パンフレットの作成、院内における履物販売品の見直しなど特出した事例が多く存在していることを確認しました。

総括

福井大学医学部附属病院における医療安全管理業務の状況について監査した結果、高度な医療を提供する特定機能病院としてふさわしい医療安全管理がされている。

引き続き、良好な医療安全管理状況の維持に努めていただきたい。

令和 5 年 1 2 月 1 2 日

福井大学医学部附属病院医療安全管理業務監査委員会

委員長 谷内江 昭宏